

有 償 資 金 協 力
2014年度対ベトナム円借款（7件）
交換公文（E/N）署名・交換

在ベトナム日本国大使館

1. 3月31日（火）14時00分より、ハノイの計画投資省において、我が方深田博史駐ベトナム特命全権大使、ベトナム側ブイ・クアン・ヴィン計画投資大臣の間で、2014年度案件として供与決定された以下の7件、総額1,124億1,400万円に関する交換公文への署名・交換が行われた。

「タイビン火力発電所及び送電線建設計画（第三期）(Thai Binh Thermal Power Plant and Transmission Lines Construction Project (III))」（98億7,300万円）

「南北高速道路建設計画（ベンルックーロンタイン間）（第二期）(North-South Expressway Construction Project (Ben Luc - Long Thanh Section) (II))」（313億2,800万円）

「第二次送変電・配電ネットワーク整備計画（Second Power Transmission and Distribution Network Development Project）」（297億8,600万円）

「ハロン市水環境改善計画（調査・設計等のための役務）（Ha Long City Water Environment Improvement Project (E/S))」（10億6,100万円）

「ドンナイ省水インフラ整備計画（Dong Nai Province Water Infrastructure Construction Project）」（149億1,000万円）

「カントー大学強化計画（Can Tho University Improvement Project）」（104億5,600万円）

「気候変動対策支援プログラム（第五期）(Support Program to Respond to Climate Change (V))」（150億円）

2. 式典において、深田大使より、日本のODAはベトナムの経済社会の発展に大きく貢献する有益なツールであり、日本は引き続きベトナム政府に対し、インフラのみならず、物心両面にわたる支援を続けていきたい旨を述べた。（詳細別添）

3. これに対し、ヴィン大臣からは、日本は、対ベトナム二国間ODA供与の最大ドナー国であり、日本のODAはベトナムの社会経済開発に積極的に貢献してきたこと、また今回の署名の1124億円のODAは、交通、エ

エネルギー，教育，給排水及び環境保全分野など，ベトナム政府における優先プロジェクトを実施するために活用することなどの表明があった。

(了)



公文の交換を行う深田大使（左）とヴィン計画投資大臣（右）

(別添)

深田大使 挨拶概要

本日、ブイ・クアン・ヴィン計画投資大臣と共に、計7件、総額1,124億円の円借款案件について、交換公文署名を無事執り行うことが出来、大変嬉しく思います。

この1月にオープニングセレモニーが行われた、ノイバイ空港第2ターミナル及びニャットン橋及びその連絡道路に象徴されるように、ODAを通じて、この20年間日本はベトナムの経済成長を支えてきました。

今回の署名は、カントー大学強化計画、ドンナイ省水インフラ整備計画、ハロン市水環境改善計画といった新規案件が含まれており、我が国のベトナム支援の幅を社会開発や医療などの分野に更に大きく広げるものです。

一方で、ベトナム側の財政上の困難な情勢のなかで、ODA案件の調整が遅れた結果、今年度の円借款の総額は前年に比較し減少しております。しかしながらベトナムの社会経済の発展のためには引き続き資金が必要であり、我が国のODAはこれに大きく貢献する有益なツールであります。我が国は引き続きベトナム政府に対し、ベトナムにとり真に必要なプロジェクトに対する資金供与に加え、無償協力や、技術協力、草の根無償協力等を通じ、インフラのみならず、物心両面にわたる支援を続けていきたいと考えております。

これらを機に、今後さらに、ベトナムの発展と、両国の強固な関係に大きく資することを祈念し、私の挨拶とさせていただきます。最後になりましたが、本日ご出席の関係省庁や地方の省の幹部に皆様にはご出席に感謝申し上げますとともに、今回署名された案件をしっかりと実施頂くよう、よろしくお願い申し上げます。